

2年生の夏休みの過ごし方

もうすぐ夏休みです。高校生活の折り返し地点が近づいてきました。高校生活後半にさしかかる夏休み明けには、いよいよ受験へのカウントダウンが始まります。受験に向けて好スタートを切れるように、気持ちを引き締めて夏休みを有意義に過ごしましょう。

1. 受験に向けた学習をスタートしよう

2年生の夏休みの学習は入試に直結しています。「この夏の成果が受験を制する」といっても過言ではありません。ぜひ、この夏休みから受験を意識した学習をスタートさせましょう。

受験勉強のスタート時期（単位：%）

選択肢	高2	成績◎	成績▲
1年生の3学期以前（春休みより前）	3.4	8.8	1.9
1年生の春休み	2.3	12.2	3.4
2年生の1学期（4月以降）	30.5	21.4	14.4
2年生の夏休み	29.8	25.5	20.7
2年生の2学期（9月以降）	9.5	10.2	12.4
2年生の冬休み	4.6	7.7	10.7
2年生の3学期（1月以降）	7.6	6.5	10.1
3年生になってから	10.7	7.3	19.8

成績◎では、約7割が2年生の夏休みまでに受験勉強をスタート。

※成績◎・成績▲のデータは、2018年度スタディーサポート2年生第1回全国集計結果より。「成績◎」はGTZ(学力)：S1～S3(難関大合格レベル)、「成績▲」はD1～D3(基礎・基本養成レベル)の受験者の平均回答率。
※「GTZ(学力)」は、S1～D3までの15段階の大学群で表示した学力の到達度の指標。
※注目してほしい数値に網掛けをしています。

上のデータを見ると、「成績◎」では、受験勉強を2年生の夏休みから始めようと考えている人が約3割、既に始めている人も合わせると約7割です。「成績▲」では、3年生になってからと考えている人が比較的多いようですが、受験勉強は少しでも早くスタートすることが大切です。

2. 進路について考えよう

時間がある夏休みは、進路についてじっくりと考えるよい機会です。まだ進路の方向性を決めていない人は、この夏休みに本やインターネットなどを活用して、いろいろと調べてみましょう。また、夏休みには多くの大学でオープンキャンパスが行われます。積極的に参加して、進路選択の参考にしましょう。

<進路を考えるポイント>

① 自分について知る

進路を考える際には、自分の適性や興味・関心などを知っておく必要があります。家族や友達などの客観的な意見に耳を傾けることで、自分では気づいていない選択肢が見つかるかもしれません。

② これから学びたいことを考える

後悔しない進路選択をするためには、「入学後に何を学び、どのような力を磨くか」まで考えておくことが必要です。希望進路先でできることを具体的に調べてみましょう。

3. 夏休みの学習計画を立てよう

夏休みを有意義に過ごすためには、事前にしっかりと学習計画を立てておくことが大切です。計画の際には以下のポイントに注意しましょう。

(1) 「夏休みを4つの時期に分けて」計画を立てる

夏休みは長いので、学習計画を考えるのが難しいという人がいるかもしれません。そんなときは、夏休みを次の4つの時期に分けてみるとよいでしょう。

① 7月下旬 ② 8月上旬 ③ 8月中旬 ④ 8月下旬

それぞれの時期に何に取り組むかを考えると、学習計画を立てやすくなります。

(2) 無理のない計画を立てる

学習内容を確実に理解するためにも、無理のない計画を立てるようにしましょう。週に1日「予備日」を設けるなど、予定通りに進まなかった場合に備えて、計画の遅れを取り戻すための時間を用意しておくことも大切です。

(3) 学校の課題に最優先で取り組む

まずは、夏休みの課題を確実に終わらせることを最優先にしましょう。夏休みの課題には、これまでの学習のポイントが多く含まれているので、課題にしっかりと取り組むことで、復習もできます。

(4) 苦手分野の復習に取り組む

時間がある夏休みは、苦手分野を克服するチャンスです。苦手だと感じている教科をここでしっかりと復習しておけば、受験勉強もスムーズにスタートできます。

(5) 毎日の学習記録をつける

何時間学習したか、計画通りに取り組めたかを毎日振り返り、記録するようにしましょう。毎日振り返ることで、すぐに軌道修正を行うこともできます。

4. 入試情報をチェックしよう

今の3年生が受験する大学入試センター試験の実施要項が発表されました。来年はみなさんの番です。これからは入試情報にも気をつけておきましょう。

<出願日程と理科の科目選択方法（令和2年度）>

出願期間は、9月30日（月）～10月10日（木）です。

出願までに、理科の受験パターンを決める必要があるので、志望校の入試科目をしっかりと研究しておきましょう。

科目選択方法

A:理科①から2科目
B:理科②から1科目
C:理科①から2科目及び理科②から1科目
D:理科②から2科目

<令和2年度大学入試センター試験時間割>

試験日	試験教科・科目	試験時間
令和2年 1月18日(土) (第1日)	地理歴史 公民	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」
	国語	『国語』
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』
令和2年 1月19日(日) (第2日)	理科①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」
	数学①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」
	数学②	「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 『簿記・会計』『情報関係基礎』
	理科②	「物理」「化学」 「生物」「地学」

(注1) 地理歴史及び公民並びに理科のグループ②の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分とする。

(注2) リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行うが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間は60分とする。

(注3) 理科のグループ①については、2科目を受験するものとし、1科目のみの受験は認めない。＜令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験実施要項より＞